

予算特別委員会資料
令和2年(2020年)3月10日
病院事業庁

令和2年度

滋賀県病院事業会計予算

参 考 資 料

～ 令和2年度 病院事業庁の取組 ～

<理念>

県民の望ましい健康を創生する

<基本方針>

- ◆ 全県的な視点に立ち、高度な医療を追求、構築し、県内のどこに住むどなたにも適切な医療を提供する。
- ◆ 将来展望に基づく医療の創生を推進する。
- ◆ 高度医療、全県型医療、将来医療の構築と実践に必要な人材の確保・育成、施設・システムづくり、知財創出などを3病院の協働により進めるとともに、それを支える経営、運営基盤を強化する。
- ◆ 職員はこれらの実現に向けて、患者さんの思いを理解し、知識や技術の向上に努めるとともに業務の改善・工夫に努める。

【ビジョン】

1 全県型・高度医療の追求

【総合病院】これまでから重点的に取り組んできた「生活習慣病」に対する治療について、困難な症例への対応を進めるなど、さらなる医療の質の向上に努めるとともに、がん患者に対する、診断から集学的治療、緩和ケアまで、QOLの向上を目指した総合的な医療とケアを提供する。

医療安全チーム、感染制御チームでの自立的な取組などにより、医療安全・感染管理を徹底する。

【小児保健医療センター】小児神経、小児整形、食物アレルギー治療や非侵襲的人工呼吸器導入などの難治・慢性疾患に対する、高度・良質・安全な医療の提供体制の充実を図るとともに、乳幼児の精密検診、ハイリスク児の予防接種、発達障害への対応などの政策医療を提供する。

【精神医療センター】精神科救急医療システムにおける応需体制の確保、医療観察法病棟の運営など、県立病院として求められるニーズに対応するとともに、アルコール依存症等の精神障害などに対して、専門性の高い治療を行う。

2 将来展望に基づく医療の創生

【総合病院】地域医療支援病院として、急性期から回復期、在宅への切れ目ない医療の提供に向けて、地域の医療機関との連携を深化するとともに、地域医療機関の人材育成を支援する。

【小児保健医療センター】難治・慢性疾患の子どもが成人になっても受け入れてもらえる医療機関が依然として少ないことから、地域医療機関との連携等、子どもから大人まで切れ目ない医療が全県的に提供できるシステム構築に向けた取り組みを進める。

3 人材の確保・育成、経営基盤強化

- ・ 大学との連携を強化し、各病院の特色や果たすべき役割を明確にしながら医師の確保を図るとともに、専門性の高い診療経験の提供等により医師の専門スキル向上につなげる。また、他職種の職員が先進的な医療技術等を習得するための研究休職制度等キャリア形成に向けた支援を行う。
- ・ 職員の機動的かつ弾力的な配置により、効率的な病院運営に努める。

4 働き方改革、業務の改善・工夫

- ・ バランス・スコアカード（BSC）を用いた目標管理を実施し、PDCAサイクルを適正に運用するとともに、病院BSCおよび部門別BSCの達成に向けて、職員一人ひとりが自らの業務の改善活動に積極的に取り組む。
- ・ 職員アンケートを継続的に実施し、職員の満足度や課題を的確に把握するとともに、改善策を検討して病院運営に反映することで職員の参画意識を高める。

令和2年度の主な取組

- ◆ 第4次中期計画(H28～R2)に掲げる医療提供体制の構築等、県立病院に求められる役割を果たせるよう、効果的、効率的な病院運営に努め、経常収支の黒字化を目指す。また令和3年度以降の第5次中期計画を策定する。
- ◆ 令和6年1月の総合病院と小児保健医療センターの統合に向けて、病院組織や運営について調整・検討を進める。
- ◆ 診療体制を整え、安定的な医療が提供できるよう、引き続き関連大学との連携強化に努め、医局へ働きかけること等により、必要な医師の確保に努める。

総合病院	<p>(1) がん診療等の医療機能の充実 より精度の高い診断・治療を実現するとともに業務の効率化を図るため、老朽化している医療機器を更新し最新の技術の導入を進める。放射線治療装置の更新に向けては、機器更新に伴い必要となる放射線治療棟再整備を進める。 また、今後広がると見込まれるゲノム医療については、診療体制の確立を図る。</p> <p>(2) チーム医療の推進と業務改善 安全で質の高い医療の提供に向けて、多職種によるチーム医療を推進する。特に、薬剤師等の医療専門職の充実を図り、専門的な指導、ケア等を提供することで患者満足度を高める。</p> <p>(3) 働き方の改善等 医師、看護師をはじめとした医療スタッフについて、タスクシフティングや業務の効率化により負担軽減を図るなど、勤務環境の改善を進める。</p>
小児保健医療センター	<p>(1) 高度専門的医療機能の拡充 小児医療の中でも一般病院では対応が困難な障害児医療や難治・慢性疾患を中心に全県型医療を提供し、地域医療機関等との連携を図りながら高度専門的かつ包括医療を推進する。</p> <p>(2) 医療機能再整備の実現に向けた取組の推進 「滋賀県立小児保健医療センター基本計画」を踏まえ、持続的発展可能な医療体制の確立に向け、必要な機能や診療科の体制等を検討のうえ、人材の確保のための準備や総合病院との統合に向けた調整を推進する。</p> <p>(3) 小児保健サービスの拠点機能の充実 乳幼児健診事業などを通じ、治療や訓練などの適切な処置が受けられるよう、療育発達相談事業への専門職員の派遣、母子保健従事者への研修・教育、生活集団教室や遺伝相談などをはじめ県内の母子保健の中核的支援拠点としての小児保健サービスを提供する。</p>
精神医療センター	<p>(1) 県の政策医療の推進 精神医療の中核施設として、アルコール依存症等中毒性精神障害や思春期精神障害などの専門医療の充実、向上を図るとともに精神科救急医療システムにおける救急患者等の民間では受入困難な患者の積極的な受入に努めるほか、行政や関係機関等との連携強化を図り、当センターが担うべき役割を果たす。</p> <p>(2) 地域移行支援の推進 長期入院患者の退院促進等に向けた院内カンファレンスの充実や福祉施設等関係機関との連携強化を図るとともに、訪問看護等を積極的に推進し、患者の地域移行を促す。</p> <p>(3) 医療観察法病棟の運営 平成25年11月1日に開設した医療観察法病棟について、近畿厚生局と適切な調整を図りながら対象者の受入を行うとともに、開かれた病院運営に努めつつ、適切な医療の提供を行う。</p>

病院事業庁予算の概要

1 業務の予定量

		全 体	総合病院	小児保健医療センター	精神医療センター
病 床 数		758床	535床	100床	123床
年 間 患 者 数	入院	229,950人	162,425人	28,470人	39,055人
	外来	286,666人	206,550人	52,089人	28,027人
1 日 平 均 患 者 数	入院	630人	445人	78人	107人
	外来	1,180人	850人	214人	116人
病 床 利 用 率		83.1%	83.2%	78.0%	87.0%

2 病院別の主な事業の概要

(単位：千円)

総合病院	1 病院機能の強化	
	(1) がん診療等の医療機能の充実 医療技術が年々高度化する中、必要な医療機器を整備し、都道府県がん診療連携拠点病院である当院に対する県民の期待に応える。 最新の医療機器の導入 688,467 放射線治療棟再整備設計業務委託 29,000 がんゲノム医療の体制整備	
	(2) チーム医療の推進と業務改善	
	(3) 旧東館解体および駐車場整備	747,144
	2 経営改善の取組	
	(1) 収益確保と収支目標管理	
	(2) 働き方の改革の推進と会計年度任用職員制度への対応	
小児保健医療センター	1 診療体制の充実	
	小児保健医療センター機能再整備(実施設計) 198,697 最新の医療機器の導入 97,000	
	2 患者サービスの向上 患者満足度調査結果を踏まえ、外来診療の待ち時間短縮や病室の環境改善に取り組む。	
	3 在宅医療支援の充実 ICT等の活用により、地域の医療機関をはじめ、保健所や訪問看護ステーションと連携し、退院支援や在宅医療・ケア支援を充実する。	
精神医療センター	1 救急医療体制の強化	45,000
	地域医療機関等からの円滑な救急受入が可能な体制を構築するために、総室の個室化に向けた改修工事を行う。	

3 当初予算額(案)

単位：百万円（税込）

【収益の収支】	前年度予算額	中期計画	当年度予算額(案)				
			全体	総合	小児	精神	経管課
事業収益 A	23,543	23,779	25,635	19,812	3,615	2,118	90
医業収益	20,119	20,422	21,969	17,576	2,876	1,429	88
うち診療収益	18,820	18,773	20,757	16,705	2,743	1,309	—
医業外収益	3,212	3,129	3,456	2,236	529	689	2
附帯事業収益	212	228	210	—	210	—	—
事業費用 B	23,563	23,705	25,560	19,757	3,600	2,113	90
医業費用	22,656	22,163	24,530	19,059	3,296	2,085	90
うち減価償却	1,716	1,790	1,797	1,455	172	170	—
医業外費用	695	1,316	820	698	94	28	—
附帯事業費用	212	226	210	—	210	—	—
差引収支 (A-B)	△20	74	75	55	15	5	—
【資本の収支】							
資本的收入 A	1,942	1,013	1,980	1,641	270	69	—
企業債	1,917	991	1,949	1,614	268	67	—
負担金	25	22	31	27	2	2	—
諸収入	—	—	—	—	—	—	—
資本的支出 B	3,818	2,939	3,940	3,244	435	261	—
建設改良費	2,089	1,035	2,092	1,719	303	70	—
企業債償還金	1,729	1,904	1,848	1,525	132	191	—
差引収支 (A-B)	△1,876	△1,926	△1,960	△1,603	△165	△192	—

4 繰入金

収益的收入 A	3,831	4,130	3,906	2,416	727	676	87
資本的收入 B	24	22	31	27	2	2	—
合計 (A+B)	3,855	4,152	3,937	2,443	729	678	87

(参考) 繰入金推移

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
決算額 (R元・R2は予算額)	4,294	4,184	4,115	4,257	4,335	3,931	3,855	3,937
対前年度比	+222	△110	△69	+142	+78	△404	△76	+82

総合病院

令和2年度当初予算(案)と対比

税込 単位：千円

		H30決算	R元当初(A)	R元.2月補正後見込額	R2当初(案)(B)	B-A	
病床数(床)		535	535	535	535	0	
診療 収益	入院	1日平均患者(人)	435.8	445.0	433.0	445.0	0.0
		病床利用率(%)	81.5%	83.2%	80.9%	83.2%	0.0%
		単価(円)	62,478	65,734	65,314	72,873	7,139
		入院収益	9,938,582	10,705,854	10,350,749	11,836,429	1,130,575
	外来	1日平均患者(人)	826.0	850.0	860.0	850.0	0.0
		単価(円)	20,729	20,137	22,900	23,570	3,433
		外来収益	4,177,737	4,176,538	4,746,364	4,868,471	691,933
計		14,116,319	14,882,392	15,097,113	16,704,900	1,822,508	
その他		3,101,047	3,042,408	3,074,992	3,107,600	65,192	
収益計		17,217,366	17,924,800	18,172,105	19,812,500	1,887,700	

給与費	7,992,998	8,278,347	8,559,781	8,906,214	627,867
材料費	4,677,718	4,643,368	5,185,522	5,527,651	884,283
経費	2,452,102	2,808,422	2,790,811	2,942,734	134,312
その他費用	2,591,088	2,182,563	2,229,644	2,381,301	198,738
費用計	17,713,906	17,912,700	18,765,758	19,757,900	1,845,200

差引収支	△ 496,540	12,100	△ 593,653	54,600	42,500
------	-----------	--------	-----------	--------	--------

<中期計画>

税込 単位：百万円

		R元	R2	
病床数(床)		535	535	
診療 収益	入院	1日平均患者(人)	438.0	440.0
		病床利用率(%)	81.9%	82.2%
		単価(円)	64,944	65,148
		入院収益	10,411	10,463
	外来	1日平均患者(人)	880.0	890.0
		単価(円)	20,905	21,153
		外来収益	4,489	4,575
計		14,900	15,038	
その他		3,200	3,199	
収益計		18,100	18,237	

給与費	8,007	8,037
材料費	5,108	5,155
経費	2,655	2,656
その他費用	2,302	2,341
費用計	18,072	18,189

差引収支	28	48
------	----	----

小児保健医療センター
令和2年度当初予算(案)と対比

税込 単位：千円

		H30決算	R元当初(A)	R元.2月補正後見込額	R2当初(案)(B)	B-A	
病床数(床)		100	100	100	100	0	
診療 収益	入院	1日平均患者(人)	67.2	77.0	71.2	78.0	1.0
		病床利用率(%)	67.2%	77.0%	71.2%	78.0%	1.0%
		単価(円)	61,615	64,468	61,690	66,785	2,317
		入院収益	1,510,244	1,816,828	1,608,620	1,901,368	84,540
	外来	1日平均患者(人)	193.2	199.7	189.8	214.4	14.7
		単価(円)	16,397	16,645	16,411	16,164	△ 481
		外来収益	773,169	811,057	747,553	841,957	30,900
	計		2,283,413	2,627,885	2,356,173	2,743,325	115,440
	その他		814,517	785,815	784,833	871,675	85,860
収益計		3,097,930	3,413,700	3,141,006	3,615,000	201,300	
給与費		1,562,733	1,659,297	1,605,992	1,744,207	84,910	
材料費		597,696	637,597	612,812	670,388	32,791	
経費		616,174	636,897	668,212	664,514	27,617	
その他費用		469,268	512,409	485,844	520,791	8,382	
費用計		3,245,871	3,446,200	3,372,860	3,599,900	153,700	
差引収支		△ 147,941	△ 32,500	△ 231,854	15,100	47,600	

<中期計画>

税込 単位：百万円

		R元	R2	
病床数(床)		100	100	
診療 収益	入院	1日平均患者(人)	77.0	78.0
		病床利用率(%)	77.0%	78.0%
		単価(円)	57,792	58,595
		入院収益	1,629	1,668
	外来	1日平均患者(人)	187.4	187.4
		単価(円)	16,645	16,680
		外来収益	761	760
	計		2,390	2,428
	その他		823	859
収益計		3,213	3,287	
給与費		1,637	1,641	
材料費		521	529	
経費		592	594	
その他費用		500	512	
費用計		3,250	3,276	
差引収支		△ 37	11	

精神医療センター

令和2年度当初予算(案)と対比

税込 単位：千円

		H30決算	R元当初(A)	R元.2月補正後見込額	R2当初(案)(B)	B-A	
病床数(床)		123	123	123	123	0	
診療 収益	入院	1日平均患者(人)	96.8	107.0	96.8	107.0	0.0
		病床利用率(%)	78.7%	87.0%	78.7%	87.0%	0.0%
		単価(円)	27,115	27,087	27,122	27,169	82
		入院収益	957,715	1,060,784	961,362	1,061,102	318
	外来	1日平均患者(人)	105.8	114.2	100.6	115.3	1.1
		単価(円)	8,510	8,938	8,675	8,826	△ 112
		外来収益	219,756	249,151	209,382	247,370	△ 1,781
計		1,177,471	1,309,935	1,170,744	1,308,472	△ 1,463	
その他		823,111	805,765	836,160	809,328	3,563	
収益計		2,000,582	2,115,700	2,006,904	2,117,800	2,100	
給与費		1,298,641	1,372,285	1,335,098	1,379,782	7,497	
材料費		106,432	122,686	115,063	118,519	△ 4,167	
経費		328,739	380,314	357,932	386,497	6,183	
その他費用		238,399	239,915	237,479	227,902	△ 12,013	
費用計		1,972,211	2,115,200	2,045,572	2,112,700	△ 2,500	
差引収支		28,371	500	△ 38,668	5,100	4,600	

<中期計画>

税込 単位：百万円

		R元	R2
病床数(床)		123	123
診療 収益	入院	1日平均患者(人)	107.0
		病床利用率(%)	87.0%
		単価(円)	27,215
		入院収益	1,066
	外来	1日平均患者(人)	111.1
		単価(円)	8,988
		外来収益	244
計		1,310	
その他		808	
収益計		2,118	
給与費		1,341	
材料費		131	
経費		375	
その他費用		247	
費用計		2,094	
差引収支		24	

病院事業繰入金について

単位：千円

項目名	説 明	予算 年度	当初予算額				
			総合	小児	精神	経営	合計
①県の受託を受けて実施している業務の経費							
保健衛生行政 事務経費	県の保健衛生行政に協力している業務につ いて、所要額を繰り入れる。	R2	74,590	37,530	27,038		139,158
		R元	88,228	36,847	29,239		154,314
保健指導部運 営経費	県の母子保健の充実・強化のため保健行政 を実施していることについて、所要額を繰 り入れる。	R2		80,748			80,748
		R元		77,628			77,628
療育部運営経 費	児童福祉法に基づく知的障害児通園施設お よび肢体不自由児通園施設を運営している ことについて、所要額を繰り入れる。	R2		161,592			161,592
		R元		158,328			158,328
精神保健福祉 センター運営 経費	病院事業と密接に連携を図るため病院建物 内で業務を執行している一般会計部門であ る精神保健福祉センターについて、所要額 を繰り入れる。	R2					0
		R元					0
経営管理課運 営経費	政策医療に係る一般会計部門との連絡調整 などを実施していることについて、所要額 を繰り入れる。	R2				87,504	87,504
		R元				86,822	86,822
小計		R2	74,590	279,870	27,038	87,504	469,002
		R元	88,228	272,803	29,239	86,822	477,092
②県が支払うべき経費で病院が支払事務を代行する経費							
共済追加費用 経費	恩給制度の給付財源に係る共済追加費用の 負担に要する経費について、所要額を繰り 入れる。	R2	124,818	23,568	13,886		162,272
		R元	128,701	25,444	15,168		169,313
児童手当経費	児童手当に要する経費のうち公費負担相当 額について繰り入れる。	R2	40,018	3,561	3,106		46,685
		R元	42,752	3,518	2,868		49,138
小計		R2	164,836	27,129	16,992	0	208,957
		R元	171,453	28,962	18,036	0	218,451
③建物建築、特定の医療機器整備等に要する経費							
建設改良経費	高度専門特殊医療を提供する拠点施設とし て必要な施設設備等の建設改良について、 ・建設改良費の2分の1相当額 ・企業償還金の2分の1相当額（高度医 療機器・施設整備経費および医療情報シス テム運営経費に係るものは除く。） ・企業償還利息の2分の1相当額（高度 医療機器・施設整備経費に係るものは3分 の3相当額）を繰り入れる。	R2	834,918	62,059	79,858		976,835
		R元	789,914	65,022	86,254		941,190
高度医療機 器・施設整備 経費	高度専門特殊医療を提供する拠点施設にふ さわしい機能を果たすために行っている高 度医療施設や医療機器の整備について、企 業償還元金償還額を繰り入れる。	R2	417,633	18,420	70,471		506,524
		R元	377,804	9,869	67,450		455,123
小計		R2	1,252,551	80,479	150,329	0	1,483,359
		R元	1,167,718	74,891	153,704	0	1,396,313

項目名	説 明	予算 年度	当初予算額				
			総合	小児	精神	経管	合計
④全県型医療等に必要な経費							
救急医療体制 確保経費	救急告示病院の指定を受け、心臓疾患、脳神経疾患に係る救急医療を実施していること（総合病院）、および精神科救急医療システムに参画し、急性期患者を受け入れていること（精神医療センター）について、不採算部分相当額を繰り入れる。	R2	406,022		39,499		445,521
		R元	408,258		38,926		447,184
研究研修経費	高度専門特殊医療を提供する拠点施設として必要な人材の資質向上を図っていることについて、研究研修費の2分の1相当額を繰り入れる。	R2	21,907	9,483	3,052		34,442
		R元	19,948	9,280	3,524		32,752
院内保育所運 営経費	高度専門特殊医療を担う病院職員を確保し安定した病院運営を図るため設置する院内保育所を運営していることについて、所要額を繰り入れる。	R2	30,248	9,744	0		39,992
		R元	36,825	900	1,073		38,798
初任給調整手 当	国家公務員である病院等勤務医師について講じられる措置を踏まえて行う公立病院に勤務する医師の勤務環境の改善に要する経費を繰り入れる。	R2					0
		R元					0
共済基礎年金 拠出金経費	病院事業の経営健全化に資するため、共済年金拠出金に係る公的負担に要する経費について、所要額を繰り入れる。	R2	226,000	44,765	25,876		296,641
		R元	213,778	2,133	24,495		240,406
研究所運営経 費	先端技術を生活習慣病の医療に結びつけるため、3大生活習慣病と認知症を中心とした研究を行っていることについて、所要額を繰り入れる。	R2	114,262				114,262
		R元	193,919				193,919
小計		R2	798,439	63,992	68,427	0	930,858
		R元	872,728	12,313	68,018	0	953,059
⑤特殊診療のため診療報酬に不足する部分に補てんが必要な経費							
特殊診療経費	一般医療機関では対応困難な小児難治慢性疾患等の患者に対する診療を実施（外来診療の長時間化）していることについて、不採算部分相当額を繰り入れる。	R2		93,152			93,152
		R元		86,294			86,294
精神病院運 営経費	精神医療の特殊性により不採算となっている部分に相当する額を繰り入れる。	R2			205,361		205,361
		R元			209,288		209,288
特殊看護体制 経費	小児医療および精神医療の特殊性により、看護体制を充実させていることについて、不採算部分相当額を繰り入れる。	R2		181,192	139,094		320,286
		R元		184,700	129,576		314,276
リハビリテー ション実施経 費	リハビリテーション医療を実施していることについて、不採算部分相当額を繰り入れる。	R2	152,361	3,031			155,392
		R元	130,516	3,031			133,547
デイケア運 営経費	デイケアを実施していること、および社会復帰、社会参加に係る相談と支援を行っていることについて、所要額を繰り入れる。	R2			70,559		70,559
		R元			67,156		67,156
高度医療機器 運営経費	高度専門特殊医療を提供する拠点施設にふさわしい機能を果たすために行っている高度医療機器の運営について、不採算部分相当額を繰り入れる。	R2					0
		R元					0
小計		R2	152,361	277,375	415,014	0	844,750
		R元	130,516	274,025	406,020	0	810,561
繰入金合計		R2	2,442,777	728,845	677,800	87,504	3,936,926
		R元	2,430,643	662,994	675,017	86,822	3,855,476
		差引	12,134	65,851	2,783	682	81,450